

つくっているのは、つながり 大通の特性を生かしたまちづくり



さっぽろ 大通 コワーキングスペース

ドリノキ
DORINOKI

札幌大通まちづくり株式会社
代表取締役社長

ヒロ カワ ユウ イチ

廣川 雄一氏

〈プロフィール〉

昭和42年明治大学文学部卒。(株)にしりん代表取締役、(株)4丁目プラザ代表取締役社長。札幌四番街商店街振興組合理事長として、大通地区の街づくりに尽力。平成21年9月、札幌大通まちづくり(株)設立に伴い代表取締役社長に就任。



大通の活性化事業は、札幌中心部商店街活性化協議会が長らく担ってきたが、経済情勢や商業環境の変化など、さまざまな課題に対応し、地区的価値を維持・向上させていくために、より自主的かつ継続的な事業展開を行う仕組みが求められるようになってきた。そこで大通地区の六つの商店街を主体として平成二十六年九月に設立されたのが、札幌市初のまちづくり会社は、まだ設立三年弱の短い期間ながらも、大通地区の「総合調整役」として、さまざまな事業活動に積極的に取り組み、着実に成果を重ねている。

初代社長に就任した廣川雄一氏は、「私たちは商業集積地を単に活性化していくのではなく、もっと多くの市民が集い、交流し、新たな価値を生み出す取り組みを実践していくたいと考えています」と語る。同社が昨年度に実施した事業は、収益確保事業、まち活性化事業、地域貢献の三つに大別される。

「まちづくりに貢献し、さらに収益確保、まち活性化、地域貢献の三事業に多彩な取り組みを推進

大通が一体となつて活性化に取り組み 新たな価値創造を実践する

を確保するために、エリアマネジメント事業では、エレベーターの保守点検共同事業に加え、資源ゴミ共同回収事業を開始しました。現在三十店が参画し、月間五トン以上の資源ゴミを買い取っています。

まち活性化への取り組みは、百貨店や商店街が参画してバーゲン期間を統一する「I LOVE ODORI」を実施。昨年夏には「500 ENJOY」という販促を行い、好評を得ました。歩行者天国事業は、「さっぽろプロムナード」から「さっぽろコテツ」に名称変更し、広くPRとともに、オープンカフェの恒常化にも取り組んでいます。また美化清掃活動の「グリーンバード札幌」、「札幌オオドオリ大学」、「まちなかマルシェ」の開催など、地域貢献、市民参加の取り組み支援を続けています。

同社は今年六月、四丁目交差点に面した日之出ビル九階に、コワーキングスペース「ドリノキ」を開設した。「コワーキングの『コ』には『いつしょに』という意味があります。従来のシェアオフィスとは異なり、入居者同士が業種を問わずに交流できることが大きな特徴です。「仕事は一人でするものの、企業単位でするもの」という今までの概念ではなく、「業種や職種を問わず、コミュニケーションを重ねることで、新しいアイデアが生まれ、ノウハウを共有し、コラボレーションを活性化していく」ことができます。「大通の宿り木」をイメージして名付けたこの新しい空間は、人と人、アイデア、仕事、札幌大通の地域情報などを、さまざまなものをつなぐ拠点としての役割を目指しています」と廣川社長。

「札幌市内の人々はもちろん、月に一度くらいの頻度で札幌に出張する道内外の人にもこれからPRを進めてまいります。仕事があれば札幌に住みたいと考えている潜在的なパートナー・ターゲット希望の方にもハブとして機能できればいいですね。大通地区の遊休不動産の新たな有効活用方法を提示するとともに、当社の収益事業のひとつとして確立を図る考えです」(廣川社長)。



▲コワーキングスペース「ドリノキ」：デスクを所有しないフレックススペース



コワーキングスペース「ドリノキ」：パーテーションで仕切られたブース▶

これからも最大限にまちを活用して取り組みを進めながら、人、場所、ものが集い、いろいろなことに波及する接点を創っていくないと考えています。

マチ活性化への取り組みは、百貨店や商店街が参画してバーゲン期間を統一する「I LOVE ODORI」を実施。昨年夏には「500 ENJOY」という販促を行い、好評を得ました。歩行者天国事業は、「さっぽろプロムナード」から「さっぽろコテツ」に名称変更し、広くPRとともに、オープンカフェの恒常化にも取り組んでいます。また美化清掃活動の「グリーンバード札幌」、「札幌オオドオリ大学」、「まちなかマルシェ」の開催など、地域貢献、市民参加の取り組み支援を続けています。

これからの取り組みを進めながら、人、場所、ものが集い、いろいろなことに波及する接点を創っていくないと考えています。

マチ活性化への取り組みは、百貨店や商店街が参画してバーゲン期間を統一する「I LOVE ODORI」を実施。昨年夏には「500 ENJOY」という販促を行い、好評を得ました。歩行者天国事業は、「さっぽろプロムナード」から「さっぽろコテツ」に名称変更し、広くPRとともに、オープンカフェの恒常化にも取り組んでいます。また美化清掃活動の「グリーンバード札幌」、「札幌オオドオリ大学」、「まちなかマルシェ」の開催など、地域貢献、市民参加の取り組み支援を続けています。

Information

札幌大通まちづくり 株式会社
住 札幌市中央区南3条西3丁目11
メセビル4階
TEL 011-211-1185
WEB <http://sapporo-odori.jp/>



百貨店、専門店、商店街が参画する「I LOVE ODORI」

新たにオフィス事業に参入 一等地に共有スペース開設

場として機能するだけでなく、仕事を先からの立ち寄り所、作品展示や制作セミナー、各種イベント会場など、さまざまな使い方が広がっている。将来的には、「ドリノキ」が窓口となつて仕事を受注し、入居者で適宜ユニットを編成し、解決策をアウトプットすることも可能となる。

面した日之出ビル九階に、コワーキングスペース「ドリノキ」を開設した。

「コワーキングの『コ』には『いつしょに』

という意味があります。従来のシェアオフィスとは異なり、入居者同士が業種を問わずに交流できることが大き

な特徴です。「仕事は一人でするものの、企業単位でするもの」という今までの概念ではなく、「業種や職種を問わず、コミュニケーションを重ねることで、新しいアイデアが生まれ、ノウハウを共有し、コラボレーションを活性化していく」ことができます。「大通の宿り木」をイメージして名付けたこの新しい空間は、人と人、アイデア、仕事、札幌大通の地域情報などを、さまざまなものをつなぐ拠点としての役割を目指しています」と廣川社長。